



わたしの 夢

福田小学校6年

古屋

輝ひかる

教えるのが上手な 水泳のコーチになりたい

わたしの夢は、水泳のコーチになることです。現在、私はスイミングスクールに通っていて、教えてくれているコーチのおかげでとても早く泳げるようになれました。タイムが縮んだときとても嬉しかったので、自分と同じような気持ちになつてくれる人が増えたらと思い水泳のコーチになりたいと思いました。私は自分が水泳のコーチになりたいということには誰にも言っていないのになんかお母さんにも言っていないのになんかお母さんにバレていたのですが「頑張つてね」と応援してくれてとても嬉しかったです。私はそんなお母さんのことをとても尊敬しています。お母さんは夜遅くまで仕事してくれたり送り迎えをしてくれたりします。お母さんが頑張ってくれているおかげで私は水泳の練習ができるし、毎日元気に学校に通えていると思います。だから私は、お母さんに負けないくらい頑張つて、みんなに頼られる、優しく教えるのが上手な水泳のコーチになりたいと思います。

町長のひとこと vol.11



先日、寒ざらし蕎麦の話題を新聞で読んだので、「川俣町そば研究会」会長の渋谷岩男さんを訪ねました。震災後、中居そば道場で毎月1日に研究会を開いているという渋谷さんは「この会の発足は今から30年前、峠の森に水車と蕎麦場打ち体験施設が出来た時でした。地域に蕎麦などの雑穀類を作る農家が多く、蕎麦打ちに詳しい人が多かったのですが私も先輩方から蕎麦打ちを受け継いできました」と話してくれました。また、多い年には2千人もの人が峠の森の蕎麦打ち体験に来てくれるそうで、さらに、寒ざらし蕎麦のイベント等では、1日に3000食を打つこともあったそうで大変驚きました。現在の会員数は、25名で有段者も10人を超えているそうで、地域の食文化継承のため研究を続けるという会員の意気込みを感じました。